

議会だより1面掲載写真について

平塚市議会では議会だより1面に掲載する写真を募集していますが、今後、より親しまれる議会だよりを目指して、市内に在住又は在勤・在学の方を対象に、季節を感じられる写真など平塚市の魅力を取めた一枚を募集しています。

詳しい応募方法などは、市議会ホームページをご覧ください。
議会局までお問い合わせください。
(議会局 ☎21-8791)



「水害に備える」 浸水対応力の強化を

須藤 量久 議員

問 本市は地形的に西部地域の標高が最も高く、金目川沿いの下流及び河内川沿いが低い。金目川は局所的な集中豪雨で河川水位が急激に上昇するため、河内川や鈴川、洪田川の水位も上昇し、内水の排除に支障をきたして浸水被害が発生している。河川整備や改修を実施しているが、要望活動が重要であるが、要望活動の状況や県による河川整備の進捗について伺う。

土木部長 本市では、3市3町広域行政推進協議会などを通じて要望活動を行っている。現在、唐ヶ原地区で工事を進めているほか、河内川においても護岸工事に着手し、市内の多くの箇所では河内川の土砂撤去など

土木部長 山下ポンプ場は、令和2年度に現在の河川の許容放流量まで排水できる事業認可を取得したことから、仮設ポンプを2台増設し、許容放流量上限の1秒間に約2・0立方メートル

トルの排水能力まで増強した。ポンプの能力がこれまでの約1・4倍に増強されたことから、山下地区の浸水被害が軽減されるものと考えている。徳延ポンプ場は、現在の許容放流量の上限まで排水できるポンプを既に設置しているため、今

後も適切な運用を行っている。高根川は、計画流量を排水できる断面で整備が完了している。管理については、パトロールなどにより状況把握に努め、昨年度は、堆積土砂の撤去を実施した。

問 纏地区と長持地区の間の纏緑道北側を流れる長持排水路からの溢水対策については、水門の設置と排水施設設置が必要である。平塚市総合浸水対策第3次実施計画に位置付けるべきと考えるが、見解を伺う。

土木部長 第3次実施計画では、長持排水路について、新たな重点地区と位置付けて検討、対策を進めていきたいと考えている。



金目地区の課題解決に向けて

黒部 栄三 議員

平塚駅〜東海大学前 駅間バス路線の充実

問 令和4年4月に駅北口から東海大学経由で開通した新しいバス路線は地元住民が利用しにくい。通院する高齢者や通勤、通学で鉄道を利用する人も多数いるため、早期に増便や、バス停設置など、地元住民が切

望している利用しやすいバス運行の実現を早期に望むが、現在の進捗状況と課題を伺う。

交通政策担当部長 開設したバス路線は、東海大学の授業に合わせ速達性を重視した運行となっている。6月に行われた意見交換会での地元の要望を基に、現路線の再編も含め、バス事業

者と調整していきたいと考えている。東海大学前駅南口のロータリーは乗降場所が限られているため、増便により運行に支障が生じることが課題となる。

金目地区に 図書館の設置を

問 令和3年3月議会で市長は複合的な魅力化と配置、新たに図書館を造るべきか、いろいろな条件を考

えて検討すべき課題と認識しているため、検討事項として取り上げたいと答弁したが、その後の検討状況について伺う。

▼このほかの質問 教員の働き方改革 無園児 平塚市学校給食センター整備・運営事業 トイレの洋式化の推進 金目親水公園

インターネット中継

本会議の質問と答弁の様子は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。

各議員の質問内容を詳しく知りたい方は市議会ホームページからアクセスしてください。議員、会派、ことばなどを検索して映像を選べます。

録画中継は発言日のおおむね1週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの間、ご覧いただけます。



清風クラブ 所属議員



数田 俊樹 議長



野崎 審也 議員



坂間 正昭 議員



片倉 章博 議員

常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。常任委員会の主な質疑を紹介します。

総務経済

議案4案件は全て原案どおり可決すべきもの、請願3件は継続審査、採択、不採択、いずれも過半数に至りませんでした。

○議案第47号 工事請負契約の締結について〔平塚総合体育館受変電設備等改修工事（電気）〕

問 地下にあった受変電設備を防災上の関係で総合公園の上に置いて配置を変えるものだが、ベンチのスペースに建設予定地がある。受変電設備を近くに設けるとベン

チが無くなるなど、その辺りの環境が変わるのか伺う。

答 ベンチの後ろの築山の上に設置するため、ベンチには影響なく工事を行う予定である。

○議案第51号 令和4年度平塚市一般会計補正予算

問 庁用車両管理事業が減額されている。庁用車両による事故は年々多くなっている印象があるが、直近3年の事故件数を伺う。

答 令和2年度は23件、3年度は21件、4年度が8月31日現在で14件となっている。

問 どのような対策を行っているのか伺う。

答 安全運転に関する知識や技術、意識の向上を図るための取り組みとして、座学による安全運転研修や実技研修の実施や、KYT、危険予知訓練など安全運転に関する啓発資料の定期的な周知、事故が続いた時などは注意喚起を強く行うなどしている。

問 行政情報化推進事業について、業務改革を行うための庁内業務量調査委託料を増額補正することだが、調査を行う場合に

において住民サービスに直結する窓口業務などさまざまな取り組みや考え方があがるが、この調査はどういった業務調査を行うのか、また、調査期間も伺う。

答 今回の業務量調査は市の業務全てに対して調査を行うものであり、その中で窓口サービスの向上につながるものや、行政事務の効率化につながるものも含まれており、両方を対象として業務量調査を行うものとなっている。調査期間は、業務量調査については今年度内での完了を見込んでいる。